

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学Ⅳ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の基本的な構造および生体の機能と仕組み、身体内外に起こる諸現象とその要因など、いわゆる生命現象を知る科目である。各器官系別に、緻密で精妙な生体の構造形態と機能の基本的な特性、また、病態との関連性についても、マクロ・ミクロの両面からアプローチし、恒常性の維持に関する内容も含めて解説する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・脳や脊髄、末梢神経など神経系の構造と形態および機能と特性について、その特徴を理解し説明できる。 ・細胞への刺激と興奮発生、伝導について理解し説明できる。 ・筋組織や腺組織などの効果器への伝達について理解し説明できる。 ・皮膚や特殊感覚器など感覚器系の構造と形態、また、皮膚感覚・内臓感覚・特殊感覚について、受容器、感覚神経、感覚中枢を機能的に理解し概要を説明できる。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	神経系の概要：神経組織(解剖学的分類と生理学的分類)、神経系の働き、刺激と興奮、神経細胞、細胞の興奮と伝導・伝達、跳躍伝導				竹内 法子
2	：神経伝導速度、シナプス、神経伝達物質、神経筋接合部、神経の変性と再生、栄養と物質代謝、ニューロン回路				
3	：灰白質と白質、脳脊髄膜、脳脊髄液、脳室と中心管				
4	中枢神経系：統合機能(感覚、運動、自律機能、高次神経機能)、反射				
5	：中枢神経の構造と機能－脊髄、間脳				
6	：中枢神経の構造と機能－脳幹、小脳				
7	：中枢神経の構造と機能－大脳基底核、大脳辺縁系				
8	：中枢神経の構造と機能－大脳新皮質				
9	：中枢神経の構造と機能－覚醒と睡眠、学習と記憶				
10	末梢神経系：末梢神経の構造と機能－脳神経と脊髄神経				
11	：末梢神経の構造と機能－体性神経系と自律神経系				
12	感覚器系：感覚の種類と特徴、体性感覚、内臓感覚				
13	：特殊感覚器の構造と機能－視覚器				
14	：特殊感覚器の構造と機能－聴覚器、平衡感覚器				
15	：特殊感覚器の構造と機能－味覚器、嗅覚器				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書および参考書を基本に、配付資料も加えて授業を行う。 ・配付資料は内容を理解して、授業および自習に活用する。 ・講義内容を十分に復習し、理解を深めること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを、隔回または不定期で行う。 ・定期試験(70%)および小テスト(30%)により総合評価する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とする。やむを得ない理由の場合は考慮することがある。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
人体の構造と機能 第5版	内田さえ、佐伯由香、原田玲子	医歯薬出版株式会社			
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂出版			
新編 カラーアトラス組織・細胞学	岩永敏彦、木村俊介、小林純子	医歯薬出版株式会社			
〔参考書〕					
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能	岩谷良則	医学書院			
最新臨床検査学講座 解剖学	秋田恵一、星治	医歯薬出版株式会社			
最新臨床検査学講座 生理学	奈良信雄、和田隆志	医歯薬出版株式会社			